

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



困った手術症例はお任せください!!

熊本医療センター 整形外科

【特集】

椎体骨折後偽関節

- VOICE
- 医学シリーズ 小児科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修日程表
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携室室長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード▲

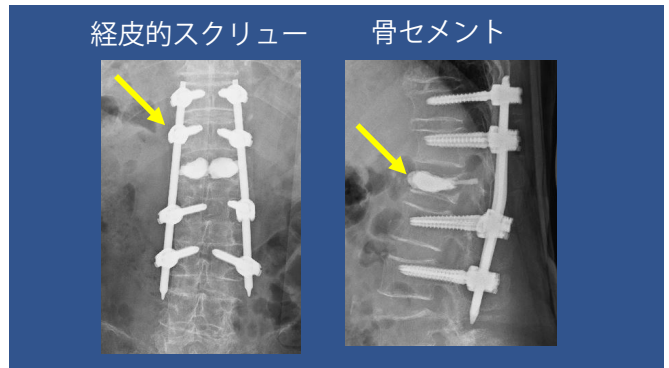
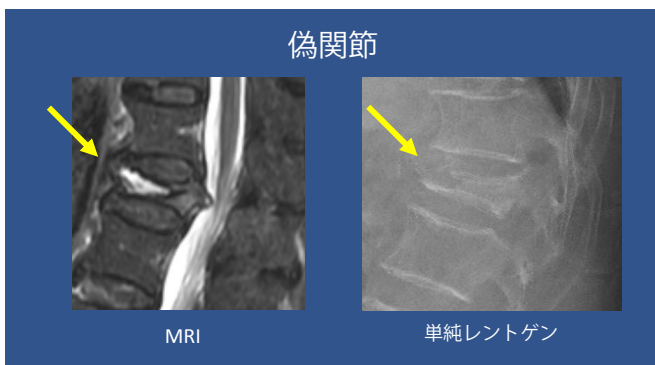
整形外科の先生方にはおなじみかもしれませんが、高齢者の骨粗鬆症をベースとする胸腰椎圧迫骨折はコルセットなどの保存療法により8割は治癒と言われていています。少数ながら骨折部での再生・癒合・再安定化がうまくいかずいつまでも不安定性が残存するもの、脊柱管への骨片が突出するとともに不安定性による刺激が加わり下肢のしびれや脱力感まで出現することがあり椎体骨折後の偽関節、遅発性麻痺として知られています。

疾患としては20年以上前から手術療法について議論されてきましたが、椎体の破壊により前方の支柱がなくなってしまうため後方からの固定のみでは破綻しやすいこと、固定するにしても頭尾側に大きく金属スクリューを設置するために侵襲が大きくなること、高齢者に対し直接的な前方の再建術の侵襲が大きいこと、後方から椎体内にハイドロキシアパタイトを充填するなどしても支持性に乏しく破綻しやすいことなど治療に難渋する疾患の1つでした。

ここ10年で広まってきた低侵襲手術手技として経皮的に椎弓根スクリューを使用して比較的容易に広範囲の後方固定を行えるPPS、また椎体骨折後に経椎弓根的にバルーンを椎体内に挿入・膨張・残存する海綿骨を押し固めながら椎体内にスペースを作成しセメントを注入して椎体高の回復と安定化をはかるBKPがあります。

以前は同時にこの2つの手技を行うことは保険上支障がありました。この数年、併用が認められるようになり、低侵襲で安定した治療法として行われるようになってきており当院でも実施しております。骨脆弱性から破綻するリスクはあるため術後も最低半年のコルセット着用やPTH製剤による骨質強化は必須ですが、患者さまにとっても医療者にとってもストレスの少ない方法だと思います。

偽関節であっても下肢症状がなく、腰背部痛も許容内である場合はPTH製剤などの使用による保存療法を勧めさせていただくこともあります。



赴任報告

4月より当院に赴任してきました。平成11年に熊本大学を卒業し同整形外科に入局して約20年、北は下関から南は水俣まで大学の関連病院で勤務してまいりました。

新しい研修医制度の影響で卒後7年目から2年間大学の病棟勤務に従事する羽目となりこの時に脊椎グループに配属されたのをきっかけに脊椎外科に携わるようになりました。前任の熊本中央病院が熊本県内では変性疾患を中心とした脊椎症例が比較的多く集まっており、6年間の間に学会の指導医資格なども取得いたしました。

当院の脊椎外科はもともと橋本副院長が長年にわたって1人で対応されてきた歴史があり、これまでも先生方にたくさんの患者さまをご紹介いただきました。現在新規の脊椎疾患の患者さまについては主に私が担当しておりますが、判断に迷う疾患等については橋本副院長にも相談しながら対応しております。病院の性格上、外傷疾患が多くはなっておりますが、腰部脊柱管狭窄症や頸椎症性脊髄症といった変性疾患についてはやはりご紹介によるところが大きくこれまで通ってご紹介いただけますと幸いです。

手術手技や器械、麻酔管理などの進歩により手術自体も増える傾向にありますが、同時に、神経障害性疼痛治療薬など新しいタイプの薬剤が加わり保存療法の選択肢も広がっております。手術を考えて来院された患者さまでもご本人と相談の上、いましばらく保存療法の方針となった場合には引き続き先生方に御加療をお願いすることもありますのでよろしくお願いいたします。

特別派手な治療方法などの特徴はありませんが、標準以上の治療を安全に提供できるように努めております。

引き続き連携のほどよろしくお願い申し上げます。

整形外科医長
ふくだ かずあき
福田 和昭



VOICE

登録医の声

B 熊本バース
クリニック

くろだ こ
院長 黒田くみ子



◆貴院のアピールをお願いします

今年の6月に熊本市南区に新しく誕生した分娩施設です。女性医師による産婦人科の診療を行っております。

医師をはじめとしてスタッフは女性ばかりで、出産や育児経験のあるスタッフも多く、何でもお気軽にご相談いただけます。

また、当院では母親学級や両親学級、理学療法士によるケアや体操指導を行っており、妊娠、出産、産後までをトータルでサポートいたします。

お子様連れでもご来院頂きやすいように、キッズルームやお子様用お手洗い、おむつ替えシートや授乳室を備えております。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

仕事や家のことに忙しく、先日小2の長女にも「お母さんの趣味は何？」と聞かれましたが、まったく答えられない状態です。休みの日は毎度子どもを連れていくところを考えるのが大変ですが、今だけと思って頑張っています。分娩を取り扱う施設のため、私の自由がききませんが、クリニックに赤ちゃんがいることを3人の娘たちも喜んでます。



◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

分娩を取り扱うようになって、いつも急変とのとなりあわせです。そんな時に頼れる高次機能病院の存在は大変ありがたく、搬送する私たちも、より正確で的確な情報をお伝えできるよう努力していきたいと思っています。また、合併症のある妊婦さんに対する供診もよろしくをお願いします。当院からのおかしな紹介状がありましたら、率直に教えて頂けると助かります。

【診療科目】

産婦人科

【診療時間】

月、火、木、金 午前 9:30～12:00
午後 14:30～18:00
水、土 午前 9:30～13:00

【休診日】

日、祝

【住所】

〒861-4113 熊本市南区八幡5丁目10-23

【TEL】

096-320-2334

【FAX】

096-320-2335





最近のトピックス

熱性けいれん

国立病院機構熊本医療センター
小児科医師

おかだ たくみ
岡田 拓巳



当科では感染症、けいれん、川崎病など子どもの病気について幅広く診療を行っています。特に力を入れている領域としてはアレルギー疾患や感染症、原因不明の発熱疾患や免疫異常症などです。救急指定病院であるため、痙攣疾患も年間 30 名前後搬送されてきます。

その中で熱性けいれんについての搬送が多くを占めており、2015 年に作成された熱性けいれんの診療ガイドラインは、診療をする上での指針となっています。

● 熱性けいれんは、主に生後 6 ヶ月～6 歳未満の乳幼児にみられ、通常 38 度以上の急な発熱に伴って意識障害や痙攣を起こす発作性疾患をいいます。発熱時に痙攣を起こすものは、髄膜炎や脳炎、てんかんなど多岐にわたっており、そのような明らかな発作の原因があるものは除外します。

日本での有病率は 7～11% 前後と報告されており、欧米より頻度が高いと言われています。熱性けいれんの痙攣は、再発 1 回が 32%、2 回が 15%、3 回以上が 7% とされますが、ほとんどは成長に伴い起こさなくなり、発達にも影響しないといわれています。

● 発作は、突然手足を突っ張る強直性痙攣や、手足をガクガクさせる間代性痙攣、両方が見られる強直間代性痙攣などがあり、白目やチアノーゼ、嘔吐を伴うこともあります。また脱力してぼんやりするだけの発作もあり、必ずしも痙攣を伴うとは限りません。

以下の 3 項目のうち全て該当しないものは単純型熱性けいれんとして、一方 1 つ以上該当するものは複雑型熱性けいれんとして、入院を含め慎重に対応する必要があります。

- ① 焦点性発作の要素をもつ
- ② 15 分以上持続する
- ③ 一発熱機会において、24 時間以内に複数回反復する
また全身状態不良な例や神経学的異常を呈するもの、発作後意識障害が遷延するものなども二次病院への搬送や入院を考慮します。

● 熱性けいれんとてんかん

熱性けいれんの既往のある小児が、後に無熱性発作を 2 回以上繰り返す、すなわちてんかんを発症する率は 2.0～7.5% 程度で、一般人口におけるてんかん発症率 (0.5～1.0%) に比べ高率です。しかし熱性けいれんの 90% 以上がてんかんを発症しないため、その説明には配慮が必要です。5 歳以降に発作を反復した場合や無熱時発作を発症した場合、特に下記のとてんかん発症の関連因子がみられる場合などは、てんかんも念頭に専門医への紹介を考慮します。

- 1) 熱性けいれん発症前の神経学的異常
- 2) 両親、同胞におけるてんかんの家族歴
- 3) 複雑型熱性けいれん
- 4) 短時間の発熱 - 発作間隔 (概ね 1 時間以内)
上記 1)~3) のどれも認めない場合、てんかんの発症は 1% と一般の人口と変わりません。
- 4) がみられる場合はその後のてんかん発症の相対危険度は 2 倍でした。

熱性けいれんは基本的には自然に見られなくなる良性の疾患ですが、何か気になる点やご不明な点などあれば、いつでもご相談ください。

今回参考にした『熱性けいれん診療ガイドライン』についてはインターネットでも参照できますので、詳しくは Web でご覧ください。

特別講演について



脳神経内科部長
幸崎 弥之助



令和2年10月1日に「実は多い？日常診療に潜むアミロイドーシス」と題して、本年4月に熊本大学脳神経内科学講座の教授に就任された植田光晴先生による特別講演が行われました。新型コロナウイルス流行により多くの行事が中止される中、高橋院長の熱意と植田先生のご快諾があり、密にならぬよう配慮された会場での開催でした。

講演内容は熊本大学脳神経内科の紹介や、科としての今後の展望を含めて多岐におよびましたが、中心はやはり植田先生のご専門であるアミロイドーシスについてでした。

アミロイドーシスという疾患の基礎的な説明に始まり、まさに植田先生がその身で体感されてきたであろう、最近数十年の研究の進歩と治療薬・治療法の開発までをドラマチックに語られました。講演翌日に院内から、アミロイドーシス診療の発展は素晴らしいという複数のお褒めの言葉をいただき、まったく自分のことではないのですがとてもうれしくなりました。最先端の内容でありながら、非常にわかりやすいご講演で、私を含め参加者にとっては非常に有意義であったと思います。

新館7階ウェブ会議室の運用開始について



事務部管理課 庶務係長
山内 浩史



新型コロナウイルス禍で、様々な会議や研修会がウェブ開催となっております。本院が主催、又は参加する会議等でも、web開催がほとんどとなっており、それに必要なインフラの需要が高まっております。そこで今年完成した新棟7階にウェブ会議専用の部屋を2室設けました。

ウェブ会議室には、55インチの大型モニター、最大180度の広角カメラ、卓上マイク&スピーカーを設置しており5、6名程度まで余裕をもって会議に参加できるようになっております。

また、新型コロナウイルス流行に対応するため設置したこれらウェブ会議室ですが、遠隔地との迅速な話し合いが可能という点において、医療連携等にも非常に効果的なものとなっております。いつ終息するともわからないコロナ禍ですが、終息後も有効活用していきたいと思っております。

予約センターマグネットのご紹介

この度、外来紹介予約センターのマグネットを作成しました。地域医療連携室受付 星野さんによる渾身の似顔絵付きです。素材が素材だけに華やかな雰囲気ではありませんが、シーサー的な魔除けと思って、先生方の目の届く場所に貼っていただくと幸いです。これからも、外来紹介予約センターをご利用くださいますようお願い申し上げます。



研修医レポート

臨床研修医

高橋 えりか

たかはし



こんにちは。研修医1年目の高橋えりかと申します。熊本大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいております。研修が始まって早くも5ヶ月が経とうとしています。新しいことばかりの日々ですが、様々な方に助けていただき、慌ただしい毎日に焦りと同時に充実感を感じながら、働き始めて5ヶ月で血液内科、麻酔科、救命救急部、腎臓内科という4つの科を回らせていただきました。

私は、4月に血液内科から研修をスタートいたしました。正直、最初は電子カルテの使い方から薬の処方、検査のオーダーなど覚えることでいっぱい、あっという間の6週間でした。指導医の先生を始めとして様々な医療スタッフの方に助けてい

ただきながら病棟業務に慣れていくことができました。骨髄穿刺やカテーテル挿入などと手技も多い科でしたが慣れない私に丁寧に指導してくださった先生方、時間がかかってでも文句も言わないで優しく声をかけてくださった患者さまに本当に感謝しております。

次に回った麻酔科は、非常に専門性が高く、麻酔科でしか学べないことが多くあったように思いました。手技も多く、ルート確保や気管挿管などを繰り返し教えていただき、術中の管理の難しさ、大事さ、日々新しいことを学び、充実した6週間を過ごすことができました。

現在は腎臓内科での研修が始まったばかりですが、初めて見る手技、手術も多く新鮮な日々を送らせていただいております。

最後になりましたが、各科の先生方をはじめ、院内のスタッフの方々には、大変お世話になっております。本当に、この病院で研修できてよかったと日々感じています。この先も多々ご迷惑をおかけすることと思いますが是非ともご指導の程お願い申し上げます。

臨床研修医

児嶋 健吾

こじま けんご



こんにちは。研修医1年目の児嶋健吾と申します。久留米大学を卒業し、4月より熊本医療センターで初期臨床研修医をさせていただいております。研修が始まり日々濃密な時間を過ごし、あっという間に5か月が経ちました。

私はこれまで麻酔科、血液内科、脳神経内科、循環器内科で研修させていただきました。初めはカルテの使い方が分からなかったり、手技に時間がかかりすぎたりと診療以外に時間と労力を取られており、疾患について学ぶという余裕がありませんでした。しかし、5か月が経ちカルテの使い方でも理解し、今は十分な勉強時間を確保しつつ充実した研修を行っていると

思います。それぞれの科で主に学んだこととしては、麻酔科では全身麻酔や気管挿管、血液内科では血液疾患や移植、脳神経内科では脳梗塞やてんかん、循環器内科ではACSや心不全があります。特に脳神経内科や循環器内科で学んだことは救急外来の夜勤時に生かすことができ、脳梗塞を疑う麻痺やACSを疑う胸痛のかたが搬送されてきたときに4～5月のときほど慌てずに対応が出来、少しは成長できたと感じております。手技に関しても最初に麻酔科で何度も気管挿管を経験出来たため、今では自信を持って気管挿管をできるようになりました。

忙しい日々を過ごし疲れてしまうこともありますが、以前よりできることが増える楽しさが自身のモチベーションに繋がっており、頑張ることができております。この初期研修の2年間は様々な科を回る最後の機会でありますので、それぞれ数週間という短い間ですが一生懸命学んでいきたいと思っております。これからも様々な方に迷惑をおかけすると思っておりますが、今後ともよろしくお願いたします。

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

2020
11月

研修日程表

研修日程表への問い合わせはこちら
 国立病院機構熊本医療センター
 地域医療研修センター（096）353-3515（直通）

研修センター
 QRコード▶



※二の丸モーニングセミナーにつきまして、詳細はホームページ（<https://kumamoto.hosp.go.jp>）をご参照ください。

11月	研修センターホール	研 修 室
1日(日)		
2日(月)		
3日(火)		
4日(水)		
5日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
6日(金)		
7日(土)	15:00~17:30 第36回 診断と治療 -最新の基礎公開講座-【Web配信あり】 「うつ病と自殺予防」【日本医師会生涯教育講座2.5単位認定】 座長 八代更生病院 理事長 宮本 憲司朗 先生 (1) 当院における自殺予防の試み 国立病院機構熊本医療センター精神科副部長 橋本 聡 (2) 老年期うつ病の実態調査と自殺予防の試み 熊本大学保健センター教授 藤瀬 昇 先生 (3) 最近のうつ病の特徴と自殺予防 有明メンタルクリニック院長 中島 央 先生	
8日(日)		
9日(月)		
10日(火)		
11日(水)	17:30~18:30 第125回 国立病院機構熊本医療センタークリティカルバス研究会	
12日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
13日(金)		
14日(土)		
15日(日)		
16日(月)		19:00~20:00 第261回 月曜会（内科症例検討会）（研修室2） 【日本医師会生涯教育講座1.0単位認定】 1. 感染症科からの一例 2. 糖尿病・内分泌内科からの一例
17日(火)		
18日(水)		
19日(木)	14:00~15:30 第92回 市民公開講座 「めざせコロナ博士！」 国立病院機構熊本医療センター感染症科部長 小野 宏	19:30~21:30 歯科 救急蘇生法講座（新館6階スキルアップラボセンター） 国立病院機構熊本医療センター麻酔科部長 瀧 賢一郎 ほか
20日(金)		
21日(土)		
22日(日)	8:30~13:15 第30回 熊本PEECコース	
23日(月)		
24日(火)		19:00~21:00 小児科火曜会（研修室1）【Web配信あり】
25日(水)	18:30~20:00 第178回 救急症例検討会 「航空医療/熊本県へり救急運行調整委員会症例検討部会」	
26日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
27日(金)		
28日(土)		
29日(日)		
30日(月)		

◎Web配信をご希望の方はこちらまでメールでお問合せください⇒ mng.kumamoto@deluxe.ocn.ne.jp

※新型コロナウイルスの影響で予定が変更になる場合もございます。

最新の情報につきましては、ホームページでご確認をお願い致します。

患者さまについてのご相談は**地域医療連携室直通電話**をご利用ください。

地域医療連携室直通電話 **096-353-6693**

直通 FAX 096-323-7601

受付 平日 8:30 ~ 17:00

熊本医療センター
 地域医療連携室副室長

とみたか えつし
 富高 悦司



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565
096-353-6566

FAX
096-353-6563



国立病院機構
熊本医療センター
地域医療連携室室長
菊川 浩明

診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 吉村 文孝 國友 耕太郎	
	血液	河北 敏郎 平野 太一	原田 奈穂子 三井 土和	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志(午前新患) 西田 周平(午后再診)	西田 周平(午前新患) 西川 武志(午后再診)	西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午后再診)	木下 博之(午前新患) 小林 由佳(午后再診)	橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午后再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)	小野 宏 (午前紹介/院内コンサルト)原 英記	小野 亮 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 原 英記(院内コンサルト)	
	感染症内科		小野 宏	小野 宏		小野 宏	
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	伊達 亮佑 (富田 正郎)	中村 朋文	松永 英士	富田 正郎	
	腫瘍内科	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智	
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 上野 茂紀	杉 和洋 中田 成紀 東 哲生	杉 和洋 石井 将太郎 志茂田 美紀	杉 和洋 松山 太一 東 哲生	上野 茂紀 中田 成紀 馬見塚 大悟	
	内視鏡	午前	中田 志茂田 (東)	松山 馬見塚	松山 上野	中田 馬見塚 志茂田	石井 東 (志茂田)
		午後	東 志茂田 馬見塚 (中田)	石井 松山 志茂田 馬見塚	中田 東 上野 (松山)	中田 上野 馬見塚 (石井)	石井 松山 志茂田
腹部超音波	杉 東 馬見塚	石井 上野 志茂田	中田 東 馬見塚	石井 上野 (志茂田)	杉 松山 志茂田		
心臓血管センター (循環器内科)	診 察	藤本 和輝 白尾 友宏 日下 木村(新患)	田山 信至 大塚 康弘(隔週新患) 野津原 淳(隔週新患)	日下 裕章 松原 純一(新患)	大塚 康弘 野津原 淳 藤本 和輝(新患)	松原 純一 木村 優一 田山 信至(新患)	
	(心臓血管外科)	手術日	岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めの方	山下 建昭	神野 哲平	担当医	大湖 一太	山下 建昭	
	2回目からの方	担当医	山下 建昭		山下 建昭	橋本 聡	
小児科	診察	水上 智之 吉田 敬伸	岡田 拓巳	水上 智之 岡田 拓巳	水上 智之	岡田 拓巳 吉田 敬伸	
	免疫	水上 智之		水上 智之			
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美	
外科	小澄 敬祐	水元 孝郎 井上 光弘	美馬 浩介	宮成 信友 井上 光弘	久保田 竜生		
脳神経センター (脳神経外科)		大塚 忠弘 中川 隆志	手術日	大塚 忠弘 武末 吉広	中川 隆志	大塚 忠弘 宮崎 愛里	
	(脳神経内科)	幸崎 弥之助	小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元	幸崎 弥之助 小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元	
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 平井 泰博	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 平井 泰博		前田 智 満瀬 葉介		中馬 東彦 宮崎 誠大	
泌尿器科	前田 喜寛 鮫島 智洋	菊川 浩明 矢野 大輔 近浦 慶太	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘刈 晋吾 山中 達郎	菊川 浩明 矢野 大輔		
産婦人科	高木 みか	西村 弘 山本 文子	山本 文子	高木 みか 山本 直	西村 弘 山本 直		
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 竹本 梨紗	手術日	担当医	上村 尚樹 竹本 梨紗		
感覚器センター (皮膚科)	初診(紹介あり)	城野 剛充	牧野 公治	小林 温子	西 葉月	島田 秀一	
	再診 (初診 無紹介)	城野 剛充 小林 温子	西 葉月 牧野 公治	島田 秀一 小林 温子	城野 剛充 西 葉月	牧野 公治 島田 秀一	
形成外科	(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 前山 徹	(午後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 (自費診療) 前山 徹	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 前山 徹		
放射線科	治療(予約制)	富高 悦司、松本 忠士					
	画像診断	吉松 俊治、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、根岸 孝典、柏木 寧、幸村 紘子					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)		(午前のみ) 田中 健一 (麻酔相談)		(午前のみ) 森永 真矢 (麻酔相談)		
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科		中島 健、谷口 広祐、早川 真奈、中尾 美文					
		中川 文雄		中川 文雄	中川 文雄		
救命救急センター		原田 正公、北田 真己、櫻井 聖大、渋沢 崇行、清水 千華子 山田 周、橋本 聡、深水 浩之、松尾 悠史					
看護外来	ストーマ			木村 文彦		宮内 大介	
	がん看護	専門看護師(午前)	専門看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
薬剤師外来	移植後フォローアップ	専門看護師 他	専門看護師	専門看護師 他	専門看護師 他	専門看護師	
	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	

(注)担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R2/11/1

令和2年11月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター

